



式締結するに際しての提供
末松市長と協定書を交
わした、プロジェクト実
行委の（右から）浅井県
幹事、平野さん、国枝地
区委員長、鈴鹿市役所

災害時に畳提供

全国の製造業有志

鈴鹿市と協定結ぶ

鈴鹿市は二十六日、

災害時に避難所へ畳の無償提供を受ける協定を、全国の畳製造業者有志による「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会（本部・神戸市）と締結した。

県内の自治体では、亀山市に次いで二番目に。災害が発生した場

合に、市の要請を受け実行委の加盟業者が畳を提供したり、避難所への移設をしたりして支援する。

鈴鹿市役所での締結式には、実行委の国枝幹事東海地区委員長や浅井一喜県幹事、鈴鹿市との連絡窓口となる

平野幸樹さんが出席し、協定書を交わした。末松則子市長は「被災者の不安軽減に寄与し、防災体制の充実につながる」と謝辞を述べ、国枝委員長は「リラックスや調湿などに効果があるとされる畳の魅力を、避難所でも感じてもらえるよう努める」と話した。

実行委は二〇一三年に発足し、全国四百七十六業者が加盟。要望

から五日以内に新しい畳を届けることを掲げている。今年四月の熊本地震や、八月に岩手県に被害をもたらした台風10号の大雨の際など、これまでに約七千枚を被災地に届けてきた。（山本克也）